

事前質問書

No.	質問事項	回答者	回答
1	<p>児童クラブの活動について(審議会資料P.20,21) 単発的に実施される企画と、数か月間に渡り複数回実施される企画があり、その参加状況も様々ようです。それぞれの地域や運営施設の持つ条件等により、おそらくあらゆる経緯を辿って現在に至るのではないかと推測しますが、参考までに、高い人気を集める企画の実施状況について、南部児童館の児童クラブの様子(広報、ネット申込み、指導者、参加利用者からの声など)をお聞きしたいです。長期的・継続的な関わりを通して子どもの発達の増進に関わる実践の良い例として参考にしたいと思いを。</p>	南部児童館	<p>南部児童館で行っている小学生を対象とした児童クラブは、こどもたちの健全育成や地域の交流を目的として、南部ジュニアクラブ運動と体操、絵画造形クラブの3クラブを開催しています。 南部ジュニアクラブは、平成19年度より卓球クラブと空手やスポーツチャンバラ・ジュニアダンス等から始まり、令和4年度より現行の運動クラブと体操クラブとなりました(運動クラブ7回、体操クラブ7回の計14回実施)。 1・2年生、3・4年生の2部制で各々10人から14人程度募集し、毎回2倍近い応募があり抽選で決定しています。 内容は、長縄とび、跳び箱等講師の先生も工夫を凝らし、児童たちは毎回楽しそうに笑顔で先生と接しています。 絵画造形クラブは、30年以上にわたり、1～6年生を対象として年7回開催し、定員16人に対して今年度は、40人の応募があるなど大変人気のクラブです。 内容は、毎回テーマを決めて絵を描いたり、貯金箱やクリスマスツリー等を製作しています。 こどもたちの作品を見て、想像力や感性の豊かさに驚かされ、将来的にも必ず役立つものと思われま。</p> <p>講師の大木先生は、ベテランらしく指導も細かく時間一杯まで熱心に指導されています。 これら児童クラブの広報は、児童館のHP・毎月のおたより(管内6校区へ2500枚配布)で行っており、QRコードやネットからお申込み頂いております。</p>
2	<p>アフターコロナの地域組織活動の実施状況について(別冊1 児童館活動報告書) 地域組織活動がコロナ等の影響を受け難航している様子も伺える一方で、アフターコロナの新たな形が生まれたケースや、あるいは様々な工夫により活動を再開しておられるところもあるようです。参考までに、清水児童館や龍田児童館の状況をお聞きしたいです。</p>	清水児童館	<p>令和5年度からはコロナ前と同様に月に1回から2回の活動を行った。参加人数の制限はしなかった。会長さんが会員全員にグループラインを回され、参加者が多くなる場合は、2つの部屋に分かれて実施する計画を立てられた。実施中は、コロナ中と同様に継続して感染防止にも気を配られて活動された。参加者は毎回10組くらいだったが、多い場合は2グループに分けて実施された。活動内容は、お見知り遠足、お別れ遠足、子育てに関する講話、リトミック、水遊び、モビール制作、勤労感謝日には隣接する消防署を訪問し手作りの花束を贈るなど行った。</p>
3	<p>基本的な質問ですが、城南児童館の指定事業とは市児童館のどの項目になりますか。</p>	こども支援課	<p>審議会資料P4に記載している朝の活動・子育て支援・児童クラブ・地域組織活動・一般利用・特別行事に該当します。</p>
4	<p>5区の中でも人口が多い中央区についてです。(西原公園児童館のみ) 熊本市新庁舎又は新中央区役所内に児童館を入れる計画はありますか。 校区内で子育てサロンを開催していますが、保護者から乳幼児の遊び場がないと他校区も含め多く聞かれます。 よろしく願いいたします。</p>	こども支援課	<p>基本構想段階において、新庁舎に「児童館」を入れる想定はありませんが、今後、基本計画を検討する中で、ワークショップ等を開催し、市民の皆様のご意見を伺いながら、子育て中の方が安心して快適に利用できる庁舎となるよう、キッズスペースの設置など具体的な検討を行います。</p>